***注）本頁は、申請書の表紙（１頁目）です。***

***本頁中の注釈（斜体文字）は、申請の際に削除ください。***

様式３

（リデュース事業）

秘

　　　　　　資源循環技術・システム表彰申請書（奨励賞）

*注）奨励賞にご応募の場合にのみ記載してください。↑*

平成　　年 月 日

一般社団法人産業環境管理協会　御中

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （ふりがな）  ①会社名又は事業所名 | （印） | | | | | | |
| ②〒、所在地、電話番号 |  | | | | | | |
| （ふりがな）  ③代表者役職氏名 | （印） | | | | | | |
| ④資本金又は基本財産 | 百万円 | ⑤従業員数 | | 人 | ⑥出荷額 | | 百万円／年 |
| （ふりがな）  ⑦連絡者　所属部署、  役職、氏名、電話番号、  ＦＡＸ番号、ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ | 電 話  　　　　　　　　　　　　　　　　ＦＡＸ  　　　　　　　　　　　　　　　　E-mail  住所*（②の所在地と同じ場合は省略可）* | | | | | | |
| ⑧申請テーマ名（ふりがな）  *（申請内容を端的に表現する*  *テーマ名を付けてください）* |  | | | | | | |
| ⑨発生・排出抑制の対象  　となる副産物・廃棄物 |  | | | | | | |
| ⑩発生・排出抑制実施前の  　副産物・廃棄物量  （平成　　年（年度）実績 ） | 発　生　量（※１） 　 ｔ／年  　　排　出　量（※２） 　 　ｔ／年  　　最終処分量　　 　　　 　 ｔ／年 | | | | | | |
| ⑪発生・排出抑制実施後の  　副産物・廃棄物量  　（平成　　年（年度）実績 ） | 発　生　量（※１） 　 ｔ／年  　　排　出　量（※２） 　 ｔ／年  　　最終処分量 　 ｔ／年 | | | | | | |
| ⑫発生・排出抑制の  　開始年月 |  | | ⑬発生・排出抑制の  継続年数 | | |  | |
| ⑭本制度に係る過去の表彰  　実績*（受賞年度、賞の種類*） |  | | ⑮他の制度による  過去の表彰実績  （*名称、受賞年度，*  *賞の種類）* | | |  | |
| ⑯所属団体名 |  | | ⑰本表彰の募集を何  　で知りましたか  *（具体的に）* | | |  | |
| ⑱申請内容、関連事項の公表実績*（ホームページ名称・URL、出版物名等）* |  | | | | | | |

※１「発生量」とは、事業所内で副産物や廃棄物（有価物を含む。）が発生した時点の量をいいます。

※２「排出量」とは、事業所外に排出される廃棄物量（有価物として売却した量を除く。）をいいます。

***注）本頁は、本文（２頁目以降）記述要領の説明です。***

***以下の項目について、申請テーマの事業内容とその特徴を記述ください。***

***該当なしの場合は、「該当なし」と記述ください。***

***また、追加項目があれば、追加ください。***

***なお、本注釈は、申請の際には削除ください。***

１．要旨

２．副産物や廃棄物について（副産物、廃棄物の名称、どこから出る副産物、廃棄物か、数量、形態、特徴等）

３．発生・排出抑制実施以前の状況

４．発生・排出抑制の実施体制

５．発生・排出抑制の取り組み内容（該当する項目について記述）

　(1) 生産工程や製法の改良等による副産物の発生抑制

(2) 廃容器・廃梱包材の発生抑制

(3) 工程内（事業所内）利用による副産物・廃棄物の排出抑制

　(4) リサイクル製品の製造・販売

(5) 副産物・廃棄物の前処理・品質管理

　(6) リサイクル事業者における自社廃棄物のリサイクル状況

(7) リサイクル事業者への技術・情報供与等

　(8) リサイクル事業者に対する再生品需要拡大の協力

(9) その他

６．副産物や廃棄物の発生量・排出量・最終処分量の推移

７．特許等の有無

８．申請内容の特徴、新規性、同業他社との相違点（技術、システム）

９．保有設備の性能等

１０．二次公害防止のための対策

　(1) 二次廃棄物の発生・処理・処分状況

　(2) 二次公害防止のための対策

１１．発生・排出抑制の動向

　(1) 実施上の問題点と対応策

(2) 将来構想